



コミュニティ・スクールがあることで

地域にとっては…
自分の経験を生かすことで生きがいにつながる！

子どもにとっては…
地域での学びや体験活動が充実し、地域愛が高まる！

教職員にとっては…
地域の協力を得られ、子どもと充実した時間が過ごせる！

保護者にとっては…
地域全体で子どもが見守られているという安心感が高まる！

今までとどう違うの？
コミュニティ・スクールの大きな特徴は、保護者や地域の方々も教育の当事者になり、責任感を持って子どもに関われることです。例えば、今まで学校に対し、こういう授業をしてほしい、通学路をこのように改善してほしいという考えを伝えても、学校に対応を委ねるしかありませんでした。

ところが、コミュニティ・スクールでは、自分たちが運営に携わり、意見を出し合い、学校と一緒に改善策を考えていくことができます。また、地域の方々は学校運営に参画することで、「学校が何をしているのか」、「子どもに何を学ばせているのか」を知ることができ、学校への理解と信頼が深まります。学校も、地域のニーズをその都度知ることができ、学校運営の質を高めることができます。

地域の未来をみんなでつくる
学校と地域が信頼関係を深め、お互いが一体となって子どもを見守る環境が整っていき、地域全体の防犯・防災面も強化され、安全・安心な地域づくりにつながっていきます。

世界に一つしかない私たちの地域を、これからの魅力のあるまちにしたい。ためには、子どもに地域への愛着を持ってもらうことが大切です。そのためにも、普段からあいさつ運動などの学校運営に参画し、子どもとの仲を深めていくことが求められます。



特集2 まち全体が大きな学校に

コミュニティ・スクール



「地域とともにある学校づくり」のしくみとして注目され、全国的に導入の広がりをを見せているコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)。今月はその概要を紹介します。
問 学校管理課 ☎924-3421



地域で取り組む学校運営



▲地域に根づく会社に職場体験の受け入れを依頼



▲運営協議会委員が住民代表として通学路合同点検に参加



▲地域の方が登下校を見守ることで地域の防犯につながる



▲住民の声を取り入れ、今後の教育活動を話し合う

Interview 01
高瀬小学校長 石井 研也さん(左)
高瀬中学校長 草野 仁さん(右)



郡山版小中一貫教育で質の高い教育を
高瀬小・中学校は6月にコミュニティ・スクールを始めました。2校が共同したことで、多くの保護者や地域の方々との関わりが増え、地域の声や特色をたくさん取り入れた運営方針を作ることができ、活動も充実しています。今後も地域と一緒に魅力的な高瀬っ子育成を目指します。

- これまでの活動内容(一部)**
- あいさつ運動
 - ICTの活用による学びの充実
 - 歯科受診率の向上
 - 給食残菜削減などのSDGs推進

Interview 02
高瀬小中学校運営協議会委員長 馬場 孝一さん

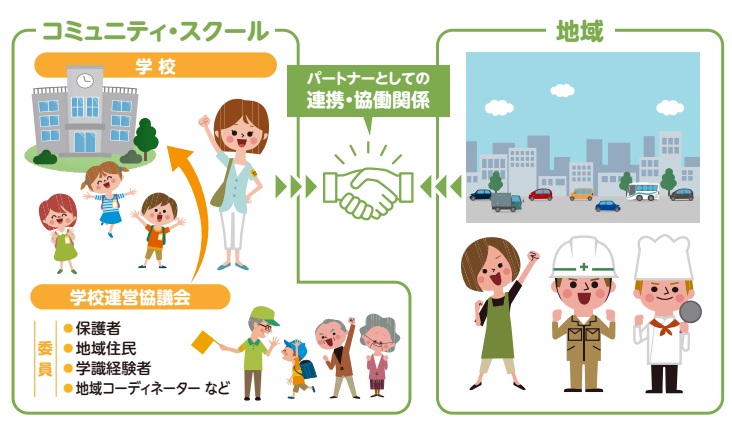


積極的な学校参画が、子どもの可能性を広げる
高瀬の運営協議会は、現在30~80代の委員の方々で構成されています。学校運営について、それぞれの年代だからこそ気付ける改善点などがあるので、協議の場はいつも盛り上がっています。子どもにとって、一人ひとりとの関わりは将来の選択肢を増やすきっかけになります。子どもの育成に答えはありません。未来を担う子どもたちのためにも、もっと多くの方々に学校運営に参画してもらい、たくさん意見を出してほしいですね。

番号	コミュニティ・スクール	構成学校	構成学校	構成学校
1	西田学園	西田学園		
2	明建中学校区	明建中	行健第二小	明健小
3	湖南小中学校	湖南小中		
4	日和田中学校区	日和田中	日和田小	高倉小
5	御館中学校区	御館中	御館小	
6	桃見台小学校	桃見台小		
7	安積第三小学校	安積第三小		
8	三和小学校	三和小		
9	熱海中学校区	熱海中	熱海小	安子島小
10	高瀬中学校区	高瀬中	高瀬小	
11	安積中学校	安積中		
12	三穂田中学校	三穂田中		
13	郡山第二中学校	郡山第二中		

▲本市では平成30年度からコミュニティ・スクールが始まり、令和5年度末までに全市立学校(区)で設置を予定

「コミュニティ・スクールって何？」
少子高齢化や人口減少などで、地域の活力が弱まりつつある現代。さらに、地域の未来を担うはずの子どもの数も、つながりや支え合いが希薄化した社会で育つことで、いじめ・虐待・貧困などの複雑な問題に直面することが増えています。こうした子どもを取り巻く問題は、地域や家庭などのさまざまな環境に要因があり、もはや学校だけでは解決できません。そんな状況の今、地域と学校が一体となり、問題の解決に向けて一緒に考え、子どもを育てていく取り組みとして、「コミュニティ・スクール」が生まれました。



そこでは、保護者や地域の方々などが学校運営協議会の委員となり、学校運営について学校と協議しながら、地域の特色に合った運営を考えていきます。また、協議会が地域の意見を集めて学校と話し合い、その結果を地域に伝える、学校と地域の連携・協働関係を作ることも可能になります。コミュニティ・スクールとは、地域の声や特色が反映され、地域が教育活動に参画できる、地域総ぐるみで子どもたちを育てる学校です。